

青少年体験活動フォーラム

～体験活動を通して、青少年の未来を考える～

◆趣 旨	青少年の体験活動の関係者が一堂に会し、青少年の課題に対応した体験活動の事例研究、ワークショップでの体験や情報交換等を行い、青少年教育指導者の資質の向上を図る。
◆主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
◆共 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家 国立中央青少年交流の家 国立那須甲子青少年自然の家 国立信州高遠青少年自然の家
◆後 援	群馬県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・長野県の各県教育委員会，前橋市教育委員会
◆開 催 日	平成22年12月4日（土）～12月5日（日） <1泊2日>
◆対 象	青少年教育行政担当者，青少年教育施設職員，学校教育行政職員，学校職員，青少年団体指導者，集団宿泊活動受入地域関係者，民間教育事業者，その他青少年の体験活動に関心のある者
◆会 場	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
◆定 員	100名（定員になり次第，締め切らせていただきます）
◆講師・内容	

【基調講演】 吉田 章氏（筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授）
「青少年期における体験活動の有用性」

<事例発表・分科会>

○A・B・Cそれぞれのテーマに応じた体験活動の事例を各団体から発表します。

A 青少年の課題に応じた体験活動

事例① 「課題を抱えた青少年に対する合宿就労支援セミナー」
太田 和雄氏（NPO法人キャリア倶楽部 理事長）

B 青少年の発達段階に応じた体験活動

事例② 「ワークキャンプ」（青年対象事業）
国立中央青少年交流の家 企画指導専門職

事例③ 「タイニーキャンプ」（小学校低学年対象事業）
国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

事例④ 「環境スタディ」（小学校高学年対象事業）
国立那須甲子青少年自然の家 企画指導専門職

C 地域のニーズに応じた体験活動

事例⑤ 「環境ワークキャンプ」（若者が、猪苗代湖の水質改善に地域の方々を巻き込みながら取り組む体験活動）
国立磐梯青少年交流の家 企画指導専門職

事例⑥ 「森で遊ぼう！ 森を創ろう！」（赤城南麓の松枯れ問題から、自然と環境について考える体験活動）
剣持 雅信氏（NPO法人CCC 自然・文化創造工場関東事業部 専務理事）

<ワークショップ>

① 課題を抱えた青少年に対するカウンセリングの基礎

吉村順子氏（鶴見大学文学部 教授）

○「ニート」「ひきこもり」といった様々な課題を抱えた青少年が増えてきています。このような青少年に対し、その心を開き、体験活動や社会への一歩を踏み出すことができるよう援助していく際に必要となるカウンセリングの基礎について学んでいきます。

② 青年の意欲や主体性を引き出す会議のつくり方

佐々倉玲於氏（佐々倉玲於ファシリテーター事務所 代表）

○「青年を中心にしたいと思いながら、つつい大人が主導してしまう会議を何とかしたいなあ」「青年同士の会議で、特定のリーダーばかりが主導してしまう会議を変えたいなあ」など会議の課題の改善について、参加者同士で会議にまつわる課題を持ち寄って、みんなで解決策を検討していきます。

③ 人間関係づくりのための体験活動

松村純子氏（国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家 次長）

○今回行う人間関係作りのための体験活動では、グループで課題を解決していく実習を通して、グループ一人ひとりの動きに目を向け、活動後にグループの中で起こったこと、メンバーが感じたことのふりかえりを行います。メンバーの話をよく聞き、自分の考えをはっきりと話すことで、自分・他者やグループの理解を深めていきます。

④ 信頼関係を築くあかぎアドベンチャープログラムの指導法

国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職

○「試して挑戦して実践的に学ぶ AAP（あかぎアドベンチャープログラム）」を体験し、青少年がお互いに信頼関係を築くことができる指導法を検討していきます。

⑤ 青少年の心を育む木登り体験（ツリーイング）

国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職

○「ツリーイング」の3つの「ing」である「木に登る（Climbing）」「木から学ぶ（Learning）」「お互いに共有する（Sharing）」体験を通して、青少年の心を育む方法を検討していきます。

◆主な日程

※プログラムの内容につきましては、進捗状況によって変更されます。

<12月4日(土)>

- 12:30~13:00 受付
- 13:00~13:20 開講式
- 13:30~15:00 基調講演
「青少年期における体験活動の有用性」:吉田 章氏
- 15:10~16:40 全体会(事例発表)
- 16:50~17:50 分科会
- 17:50~18:00 宿泊等案内(オリエンテーション)
- 18:30~20:00 ディナーミーティング(夕食を兼ねる)
- 20:00~ 休憩・入浴等(23:00就寝)

<12月5日(日)>

- 9:00~12:00 ワークショップ
- 12:10~12:30 閉講式

◆申込期間

平成22年9月17日(金)~11月5日(金)必着

- ★定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ★受講内定者の二次案内通知につきましては、申込期間終了後、郵送にてお知らせいたします。

◆参加費

1,270円

【内訳】食事代、シーツ洗濯代、
※保険代は、文部科学省委託費より支出をします。

<保険内容>保険種類：傷害保険

死亡・後遺障害	2,010万円
入院日額	10,000円
通院日額	5,000円

- ※12月4日に夕食を兼ねたディナーミーティングを実施します。参加希望者は、別途1,500円を徴収させていただきます。
- ※二次案内で振り込み用紙を送付します。参加費お支払い後は、理由の如何を問わず返金等はできませんので、予めご了承願います。

◆持ち物

調査用紙、参加費振り込み領収書、上履き、洗面具、パジャマ類、健康保険証、筆記用具等
 ※ワークショップで「あかぎアドベンチャープログラム」「ツリーイング」を受講する方は、動きやすい服装・靴・雨具(上下別のもの)もご用意ください。

◆申込方法

- 参加申込書に必要事項をご記入の上、下記の宛先まで郵送かFAX、またはE-mailにてお申し込みください。
- ★FAXでお申し込みの場合は、電話で着信の確認をお願いいたします。
 - ★E-mailでお申し込みの場合は、件名に必ず「青少年体験活動フォーラム」の文字を明記してください。
 - ★当日、以下発着の無料送迎バスがご利用できます(時刻指定)。ご希望の方は、参加申込の際にお申し出ください。
 - ① JR前橋駅
 - ② 国立磐梯青少年交流の家
 - ③ 国立中央青少年交流の家
 - ④ 国立那須甲子青少年自然の家
 - ⑤ 国立信州高遠青少年自然の家

<申し込み先・問い合わせ>

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
 〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL 027-289-7224 FAX 027-289-7226 E-mail akagi22kikaku@niye.go.jp
 URL <http://akagi.niye.go.jp/>
 担当：企画指導専門職 西田真吾・鈴木圭一

平成22年度 文部科学省委託事業
「青少年体験活動フォーラム」参加申込書

◆申込日：平成22年 月 日

ふりがな 氏名		性別	男性・女性	年齢	歳								
住所	〒 ※〒-1名と部屋番号も必ずご記入ください。												
TEL	(自宅)	(携帯)											
FAX		E-mail アドレス											
活動団体名 又は所属名													
◆分科会について、参加希望の分科会番号を○で囲んでください。													
第1希望	1	2	3	4	5	6	第2希望	1	2	3	4	5	6
◆ワークショップについて、参加希望の番号を○で囲んでください。													
第1希望	1	2	3	4	5	第2希望	1	2	3	4	5		
◆12月4日の夕食を兼ねた情報交換会について、空欄に○をつけてください。													
	参加する (別途 1,500 円を徴収させていただきます。)						参加しない						
◆事業前後の昼食について、空欄に○をつけてください。													
	12月4日の昼食を希望する				12月5日の昼食を希望する				希望しない				

★当日の交通手段について、送迎バス利用希望の場合は下の空欄に○で囲んでください。
 行き12月4日(土) 帰り12月5日(日)

	JR 前橋駅発		JR 前橋駅着
	国立磐梯青少年交流の家発		国立磐梯青少年交流の家着
	国立中央青少年交流の家発		国立中央青少年交流の家着
	国立那須甲子青少年交流の家発		国立那須甲子青少年交流の家着
	国立信州高遠青少年自然の家発		国立信州高遠青少年自然の家着

※発着時刻につきましては、二次案内でお知らせいたします。

【個人情報について】

本事業の参加申込手続きにおきまして、申込者から提出された個人情報を事業の事務手続き、及び広報調査に関する統計並びに事業案内の発送に付随する運營業務のために利用します。その取り扱いについては細心の注意を払い、厳重に管理します。予め申込者の同意がある場合、及び法令等に基づき要請された場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

◆◆お申し込み、ありがとうございました。◆◆◆